

## 放射能(核種)検査報告書

67930

 依頼者名: 株式会社蔵屋鳴沢 代表取締役 稲村 殿  
 浩宣

結果報告日: 2012年4月19日

測定日: 2012年4月19日

報告書番号: RIN12YW087TD

試料名 : 自園大走り新茶(ハウス)

株式会社 同位体研究所

代表取締役 堀

横浜市鶴見区末広町1-17-49

横浜市産学共同研究センター内

TEL:045-718-5457 FAX:045-302-2555

検体特記事項: 試料名は依頼者記載

検体量 : 2L

## 検査及び

 判定法: 厚生労働省「緊急時における食品の放射線測定マニュアル」に準ずるGe  $\gamma$ 線スペクトロメーターによる核種測定。サンプル調整については、文部科学省 環境試料採取法に準ずる。

分析結果: 飲用抽出茶核種検査

核種	分析対象品目分類	測定値	単位	検出限界
Iodine-131	日本 抽出液	ND	Bq/kg	1 Bq/kg
Caesium-134 Caesium-137	国内は、合算規制値	ND ND	Bq/kg Bq/kg	1 Bq/kg
放射性セシウム計	日本 抽出液	ND	Bq/kg	1 Bq/kg

測定値がNDと表記の場合、検出なし(Not Detected)を意味する。

 目標定量限界 10 Bq/kg ND: Not Detected(不検出) 尚、本検査では、測定時間は20分間  
 (検体中の核種の存在状態により定量下限は変動する)

## 放射能検査に関する注記:

本測定は、「緊急時モニタリング計画における食品の放射能測定・分析」に基づき、第2段階モニタリングにおける測定・分析により、放射性ヨウ素(I-131)、放射性セシウム(Cs-134, Cs-137)の放射線核種を測定する。本測定においては、定量限界に示す定量性が、多核種の存在もしくは、検体の放射性物質による汚染濃度により低下する場合がある。このため、NaIシンチレーション検出器による併用測定にて1Bq/kgでの検出限界を補完する。Ge半導体 $\gamma$ 線スペクトロメーターで10Bq/kg未満の検出が疑われる場合、またはNaIシンチレーション検出器にて、10 Bq/kg未満 1Bq/kg以上の検出が認められる場合は、 $\gamma$ 線スペクトロメーターによる測定時間を延長(200分)確認測定にて確定

結果注釈: 放射性ヨウ素(I-131)・セシウム(Cs-134, Cs-137)検出なし

注) 検査結果は、依頼者より提供された検体の分析結果であり、弊社は、当該検体の分析結果についてのみ、その結果を証明します。弊社は、検体の取去に一切関与しておらず、検体以外のいかなる製品に対して、この分析結果を証明するものではありません。本分析試験報告書を弊社の許可なく無断で転載し、使用することを禁止します。(ただし、行政機関による検査の場合を除く)